

◎ 社会福祉施設等の整備（国基金事業） 2,872百万円 (+198百万円)

- ・小規模特別養護老人ホーム等の整備費を助成
- ・特別養護老人ホームや社会福祉施設のスプリンクラーの設置費を助成

◎ しまね流安心生活創造プロジェクト【新規】（国基金事業） 300百万円

- ・それぞれの地域課題に応じた地域の支え合いの仕組みを構築するため、これまでの自治会区小地域福祉活動の成果を踏まえ、島根県社会福祉協議会を中心に、組織づくり・活動づくり・人づくり等を支援

◎ 県営住宅の家賃減免【制度拡充】

- ・県営住宅の老朽化による建替に伴い、家賃の低廉な住戸が減少することから、特に収入に対する家賃負担が大きい市町村民税非課税世帯のうち、所得0円世帯について、家賃負担増の影響を緩和するため、減免率を25%から50%に拡大

(9) 教育の充実

○ 離島・中山間地域の高校魅力化・活性化の推進【新規】 23百万円

- ・離島・中山間地域の高校と地元町村が連携して実施する高校の魅力化・活性化の取組を支援

○ 県立高校図書館教育の推進【新規】 30百万円

- ◎学校司書が未配置の県立高校に学校司書を配置
- ・学校図書館活用方法の調査研究

○ 子ども読書活動の推進 233百万円 (+7百万円)

- ・小中学校（H23見込：329校）に学校司書等を配置する市町村に財政支援
- ・学校図書館活用教育図書を市町村立図書館等11箇所に整備し、近辺の小中学校で共同利用
- ◎推進校を指定し、環境整備を行うとともに、その成果を普及
- ◎しまね子ども読書コンクールを実施し、読書活動や学校図書館活用教育に優れた学校を公募して表彰
- ◎学校図書館活用教育に関するフォーラムの開催【新規】

- 特別支援学校の校舎等の整備【新規】610百万円【補正0.7億円含む】
  - ・特別支援学校高等部の生徒急増に伴う当面の校舎確保対策や、耐震力不足に伴う建替
    - ・生徒急増に伴いリース方式により当面の校舎を確保  
松江養護学校（松江高等技術校跡地）及び出雲養護学校（学校敷地内）
    - ・耐震力不足により解体撤去した校舎の建替（石見養護学校特別教室棟）

- 県立大学看護学部の設置（4大化）（再掲）

- 専修学校進学者への特別支援 52百万円（+15百万円）
  - ・就職希望から専修学校への進学に進路変更した学生へ奨学金を貸与

#### (10) 社会貢献活動の推進

- しまね社会貢献基金事業（「新しい公共」の支援）【新規】（国基金事業）  
50百万円
  - ・県民の積極的な「公」への参加による公的サービスの供給に向け、N P O等の自立的な活動を促進・支援

#### (11) 交通の確保

- バス路線の運行維持 317百万円（▲6百万円）
  - ・県立学校の通学路線や合併後の複数市町村をまたぐ路線について補助要件を緩和また、市町村内での路線について、運行形態にかかわらず、市町村の取組を支援

- 交通空白地域の解消支援【新規】（再掲）

- 隠岐航路の運航維持【制度創設】
  - ・次期超高速船（ポストレインボー）の導入に対する支援制度を創設（町村の実負担の2／3を助成）

- 航空機を利用した観光客の誘致対策（再掲）

## (2) 防犯・環境対策等

### ○ 防犯環境づくり交付金事業 28百万円 (+18百万円)

- ・通学路など防犯灯の設置が必要な箇所で、自治会のエリア外など自治会等では対応が困難なものについて、市町村が新たに設置する場合に設置経費を補助

### ○ 駐在所ネットワークの整備【新規】 37百万円

- ・高度にセキュリティ対策を講じた携帯電話回線により県下駐在所をネットワーク化し、迅速・確実な警察情報の伝達や細やかな住民サービスに対応

### ○ 穴道湖・中海の水質改善の促進【新規】 44百万円

- ・栄養塩循環による中海の水環境の改善と藻の有効活用のための調査・研究
- ・藻刈り体験や学習会を通じた物質循環による水質浄化の仕組理解と実践の啓発（山陰両県共同事業）
- ・水辺植生等による自然浄化機能を活用した湖沼の水質改善

## (3) 災害等への対応

### ○ 農畜産施設・漁船の雪害復旧支援【新規】 332百万円

(債務負担行為980百万円) [補正]

- ・H22.12月からの大雪による被害を受けた農畜産施設や漁船の復旧に必要な経費の助成
- ・農畜産施設の復旧や農産物の再生産に必要な運転資金のための貸付枠を拡充

### ○ 農業施設等の風雪害等への備え【新規】 300百万円

- ・風雪害等に備えた農業生産施設等の復旧に対する助成枠

### ○ 道路の除雪費 920百万円 [補正267百万円含む]

- ・H22.12月からの大雪の事態を踏まえ、今後必要と見込まれる除雪費を措置  
267百万円 [補正]

- ・大雪に備え、道路の除雪費を拡充 356百万円

- ・除雪体制を充実するため、除雪車輌の購入経費を拡充 297百万円

- 高病原性鳥インフルエンザ対策【新規】 90百万円【補正10百万円含む】
  - ・高病原性鳥インフルエンザ発生の未然防止を図るため、養鶏農家の防鳥ネット等の整備を支援
- 高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病への備え【新規】 200百万円
  - ・家畜伝染病発生に備えた初動対応経費や家畜補償経費
- 災害復旧への備え 85百万円
  - ・災害復旧や災害関連公共工事の実施のための事前調査設計費を拡充
- 予備費 3億円（+2億円）

#### (4) その他

- 島根県公文書センター（仮称）の整備【新規】 53百万円
  - ・歴史的公文書の収集、整理、保存を行い、県民への公開を行うため、島根県公文書センター（仮称）を第3分庁舎（旧博物館）に設置
- 防災ヘリコプターの更新 1,775百万円
  - ・H6から運航している防災ヘリコプターの機体等の更新
- 行政改革（総務事務集中化）の推進【新規】 300百万円
  - ・行政の効率化・スリム化を図るため、内部管理事務改革（情報システム及び外部委託等を活用した事務の集中処理化、一元化）を実施